

1. 媒体作成条件

項番	項目	内 容			
1	作成単位	ご契約番号単位に収録します			
2	作成対象 サ ー ビ ス	メンバーズネット（ホスト一括送付）			
3	フォーマット形式	3. 5インチFD（2 H D）		M O	C D - R
		1. 25MB	1. 44MB	128MB	650MB
4	標準最大出力件数 （圧縮希望時）	5,000 (50,000)	6,000 (50,000)		
5	使用コード	J I S 漢字コード：シフトJ I S			
6	レコード長	可変長（復帰改行コードが追加されます）			
7	ファイル形式	テキスト形式・項目名付CSV (1枚に収容しきれない場合は、同一ファイル名で、複数枚作成します。)			

注：「項目名付CSV形式」とは、レコードの先頭に項目名のみの項目名レコードを編集し、その後ろにデータレコードを編集する形式です。

レコードの編集形式は、以下のとおりとなっています。

- （1）項目と項目の間をカンマ（,）で区切ります。
- （2）1レコードの最終項目編集後、復帰改行（C R L F）を付加します。
- （3）数値項目（件数・金額等）以外の場合は、そのデータをダブルクォート（"）で囲みます。（例：..., "A B C D", ...）
- （4）数値項目（件数・金額等）以外の場合で、該当データが無い場合は、半角スペースを編集しダブルクォートで囲みます。（例：" "）
- （5）数値項目の場合は、有効数字のみ編集します。
※有効数字の編集に伴い、仕様書上の桁数と異なる場合があります。
- （6）数値項目の場合で、該当データが無い場合は半角のゼロを編集します。
- （7）標準最大出力件数は、記録媒体への収容方法により変動します。

<圧縮について>

お客様提供データの圧縮希望時はフリーソフトウェアの「高圧縮書庫管理プログラムLHA」を使用し、自己解凍形式（プログラム形式）で圧縮します。

圧縮したデータの解凍手順…①パソコンのハードディスクにデータを落とし込む。

②ファイルを実行する。

以上で圧縮したデータが自動的に解凍されます。

2. ファイル仕様

（1）作成するファイル

ファイル名称	ファイル名
共通管理ファイル	R O O O O O r 1 . C S V
電番管理ファイル	R O O O O O r 2 . C S V
通話明細ファイル	R O O O O O r 3 . C S V
電番合計ファイル	R O O O O O r 5 . C S V
電番合計ファイル（クレジット通話分）	R O O O O O c 5 . C S V
終了ファイル	R O O O O O r 9 . C S V

注：作成するファイル名の構成

R O O O O O x x . C S V
 *1 *2 *3 *4

- * 1 「R」：「ダイヤル通話料金明細内訳書」
- * 2 弊社が付与するお客さま識別コード（数字5桁）
- * 3 x x：データ種類（圧縮した場合は作成通番01～99）
- * 4 C S V：ファイル拡張子（圧縮した場合は、「e x e」）

※圧縮の場合は、x xに作成通番01～99、ファイル拡張子「e x e」のファイルを作成しますが、自動解凍後に上記のとりのファイルになります。

※圧縮ファイルが複数枚となった場合に、同じフォルダ内で解凍すると、通話明細ファイルは、1枚目からN枚目全て同じファイル名で解凍されますので後から解凍したファイルで上書きされます。複数枚になった場合は、フォルダを変えて解凍して下さい。

（2）収容方法

① 1枚目

各ファイルを各種記録媒体の最大出力件数（記録媒体のフォーマット形式毎に定めた収容可能な最大件数）になるまで収容します。

② 2枚目以降

1枚目に収容しきれなかったファイルを2枚目以降の記録媒体に順次収容します。

最大99枚まで収容可能です。

※複数枚に跨って収容されるファイルの項目名レコードは作成しません。

3. ファイル構成

●共通管理ファイル

●電番管理ファイル

子電話番号 1						～	子電話番号 N							
利用内訳 1			～	利用内訳 N			利用内訳 1			～	利用内訳 N			
サービス区分 1	～	サービス区分 N		サービス区分 1	～		サービス区分 N	サービス区分 1	～		サービス区分 N	サービス区分 1	～	サービス区分 N

※ 電番管理レコードは、サービス区分／利用内訳毎に作成します。

●通話明細ファイル

子電話番号 1												～	子電話番号 N													
利用内訳 1						～	利用内訳 N						利用内訳 1						～	利用内訳 N						
サービ`ス 区分 1			～	サービ`ス 区分 N			サービ`ス 区分 1			～	サービ`ス 区分 N			サービ`ス 区分 1			～	サービ`ス 区分 N								
通話 明細 レコー ド 1	通話 明細 レコー ド 2	通話 明細 レコー ド N		通話 明細 レコー ド 1	通話 明細 レコー ド 2		通話 明細 レコー ド N	通話 明細 レコー ド 1	通話 明細 レコー ド 2		通話 明細 レコー ド N		通話 明細 レコー ド 1	通話 明細 レコー ド 2	通話 明細 レコー ド N	通話 明細 レコー ド 1		通話 明細 レコー ド 2		通話 明細 レコー ド N	通話 明細 レコー ド 1	通話 明細 レコー ド 2	通話 明細 レコー ド N			

※ 通話明細レコードは、サービス区分／利用内訳毎に作成します。

●電番合計ファイル

子電話番号 1										～	子電話番号 N											
利用内訳 1					～	利用内訳 N					利用内訳 1					～	利用内訳 N					
サービ ^ス		電番合計 1	サービ ^ス			電番合計 N	サービ ^ス		電番合計 1		サービ ^ス		電番合計 N	サービ ^ス			電番合計 1	サービ ^ス		電番合計 N		
区分 1	区分 N		区分 1	区分 N			区分 1	区分 N			区分 1	区分 N		区分 1	区分 N							
電番合計 1	電番合計 N	～	電番合計 1	電番合計 N	～	電番合計 1	電番合計 N	～	電番合計 1	電番合計 N	～	電番合計 1	電番合計 N	～	電番合計 1	電番合計 N	～	電番合計 1	電番合計 N			

※ 電番合計レコードは、サービス区分／利用内訳毎の、利用区分単位に作成します。

●終了ファイル

4. レコード構成

(1) 共通管理レコード

レコード識別	媒体識別	会社コード	ファイル作成日付	料金月	料金群	媒体通番	明細送付代表番号	年月群	請求回数	詳細群
1	2	5	6	4	1	2	12	7	1	1

(2) 電番管理レコード

レコード識別	明細送付代表番号	子電話番号	サービス区分	送付明細呼数	利用月日初日	利用月日末日	各種サービス番号	契約者回線番号	グループセキュリティ	出力形式	利用内訳	お客様番号	ロケーションコード	ソートパターン	年月群
1	12	13	20	7	6	6	11	13	6	8	30	13	16	1	7

(3) 通話明細レコード

レコード識別	明細送付代表番号	子電話番号	サービス区分	通信元電話番号	通話月日	通話開始時刻	着信電話番号	県名	通話時間	通話料金1	通話料金2	通話料金3	発信県名	通話種別	昼夜別	フリーダイヤルサービス種別	地域名	各種サービス番号	利用内訳	年月群
1	12	13	20	13	4	6	13	10	8	10	10	10	10	20	18	18	12	11	30	7

（４）電番合計レコード

レコード識別	明細送付代表番号	子電話番号	サービス区分	利用区分	合計金額	その他計	加減算計	未送付計	請求分計（割引適用分）	請求分計（通常通話分）	I識別	利用内訳	年月群
1	12	13	20	60	9	9	9	9	9	9	30	30	7

（５）電番合計レコード（クレジット通話分）

※クレジット通話明細送付をお申し込みの場合に作成します。

レコード識別	明細送付代表番号	子電話番号	サービス区分	利用区分	合計金額	月間減算金額	区域合計金額	非希望時合計金額	請求金額	通話時間	利用内訳	年月群
1	12	13	20	60	9	9	9	9	9	10	30	7

平成 23 年 3 月にサービス終了

（６）終了レコード

レコード識別	FD枚数	総出力レコード数	年月群
1	2	9	7

5. レコード内容

(1) 共通管理レコード

項 番	項 目 名	区分	桁数	内 容
1	レ コ ー ド 識 別	文字	1	“1”固定
2	媒 体 識 別	文字	2	提供媒体種別を設定 FDの場合…“FD” MOの場合…“MO” CD-Rの場合…“CD” ビリングステーションご契約の場合…“BS”(注2)
3	会 社 コ ー ド	文字	5	お客様を識別するコードを設定（注1）
4	フ ァ イ ル 作 成 日 付	文字	6	ファイル作成年月日（YYMMDD）を和暦で設定 例：平成12年8月3日→“120803”
5	料 金 月	文字	4	料金月（YYMM）を和暦で設定 例：平成12年8月→“1208”
6	料 金 群	文字	1	“1”～“6”を設定 詳細は、項番6コード表「料金群・詳細群」を参照
7	媒 体 通 番	文字	2	“01”固定
8	明 細 送 付 代 表 番 号	文字	12	明細一括送付IDを設定 例：“123456789012”（カッコ、ハイフン編集なし）
9	年 月 群	文字	7	年は西暦4桁、月は“01”～“12” 群は“1”～“6”（A群～F群） 例：2000年8月C群→“2000083”
10	請 求 回 数	文字	1	同一請求番号で、同一期別内に請求書を発行した回数 （料金群変更時等） ※再発行は対象外 ※回数は0から起算。例：初回請求時“0”
11	詳 細 群	文字	1	詳細群を“A”～“V”、“0” “1”～“9”で設定 詳細は、項番6コード表「料金群・詳細群」を参照

（注1）：会社コード

会社コードとは、弊社側（NTTコミュニケーションズ）がお客様へ提供の媒体を管理するために設定したコードです。

（注2）：ビリングステーション

ビリングステーションとは、電話等サービスの「料金・通話明細データ」を専用 Web サーバーからダウンロードできるオンラインサービスです。

(2) 電番管理レコード

項 番	項 目 名	区分	桁数	内 容
1	レ コ ー ド 識 別	文字	1	“2”固定
2	明 細 送 付 代 表 番 号	文字	1 2	明細一括送付IDを設定 例：“123456789012” （カッコ、ハイフン編集なし）
3	子 電 話 番 号	文字	1 3	発信電話番号を設定 （クレジットの場合は、課金先電話番号） 例：“(03)1234-5678”（カッコ付きハイフン編集）
4	サ ー ビ ス 区 分	文字	2 0	サービス区分を設定 例：アナログメンバーズ→“VPN” INSメンバーズ→“INS-VPN” クレジット→“クレジット”
5	送 付 明 細 呼 数	数字	7	通話回数を設定
6	利 用 月 日 初 日	文字	6	ご利用期間初日を和暦で設定。出力形式：YYMMDD
7	利 用 月 日 末 日	文字	6	ご利用期間末日を和暦で設定。出力形式：YYMMDD
8	各 種 サ ー ビ ス 番 号	文字	1 1	スペースを設定。但し、クレジットサービスの場合は 上1桁を登録番号1桁（スペース又は“0”～“9”）で設 定
9	契 約 者 回 線 番 号	文字	1 3	スペースを設定
1 0	グ ル ー プ セ キ ュ リ テ ィ	文字	6	スペースを設定
1 1	出 力 形 式	文字	8	サービス区分＝“INS-VPN”の場合 発信者番号通知有り→“発ID有” 発信者番号通知無し→“発ID無” 上記以外の場合、“1”を設定
1 2	利 用 内 訳	文字	3 0	ご利用の会社名を設定 例：“NTTコミュニケーションズ” “携帯電話会社” “PHS会社” “ポケットベル会社”
1 3	お 客 様 番 号	文字	1 3	スペースを設定
1 4	ロ ケ ー シ ョ ン コ ー ド	文字	1 6	スペースを設定
1 5	ソ ー ト パ タ ー ン	文字	1	スペースを設定
1 6	年 月 群	文字	7	年は西暦4桁、月は“01”～“12” 群は“1”～“6”（A群～F群） 例：2000年8月C群→“2000083”

(3) 通話明細レコード

項 番	項 目 名	区分	桁数	内 容
1	レ コ ー ド 識 別	文字	1	“3”固定
2	明 細 送 付 代 表 番 号	文字	12	明細一括送付IDを設定 例：“123456789012” (カッコ、ハイフン編集なし)
3	子 電 話 番 号	文字	13	発信電話番号を設定 (クレジットサービスの場合は、課金先電話番号) 例：“(03)1234-5678” (カッコ付きハイフン編集)
4	サ ー ビ ス 区 分	文字	20	サービス区分を設定 例：アナログメンバーズ→“VPN” INSメンバーズ→“INS-VPN” クレジット→“クレジット”
5	通 信 元 電 話 番 号	文字	13	サービス区分=“INS-VPN”(INSメンバーズ)で、出力形式=“発ID有”の場合、発信者番号を設定 例：“1234-5678”(市外局番は表示いたしません) サービス区分=“クレジット”の場合、会員番号を設定 例：“1234567890” 上記以外はスペースを設定
6	通 話 月 日	文字	4	通話毎の発信月日を設定。出力形式：MMDD 例：7月1日→“0701”
7	通 話 開 始 時 刻	文字	6	通話毎の開始時刻を設定。出力形式：HHMMSS 例：14時3分1秒→“140301”
8	着 信 電 話 番 号	文字	13	通話先電話番号(右詰め、余白スペース) 例：“△03-1234-5678” “△△△△1234-5678” 11桁電話番号は以下の編集となります 例：“090-123-45678”
9	県 名	文字	10	サービス区分=“VPN”(アナログメンバーズ)、“INS-VPN”(INSメンバーズ)の場合、スペースを設定 上記以外は県名を設定 例：“千 葉”
10	通 話 時 間	文字	8	通話毎の通話時間を設定(HHHMMSSSS) 例：8.0秒の場合→“00000080” 1分12.5秒の場合→“00001125” 1時間25分6.0秒の場合→“00125060” (秒については、0.5秒単位で表示します)
11	通 話 料 金 1 ※INS-VPN以外の 場合、通話料をセット ※INS-VPNの場 合、遠距離通話・通信料 をセット	数字	10	通話料金(小数点第1位まで)を設定 (下1桁は小数点第1位) 例：10円の場合→“100” 例：20.5円の場合→“205” 番号案内「104」の場合、回数を設定
12	通 話 料 金 2 ※INS-VPNの場 合、近距離通話・通信料 をセット	数字	10	エンジェルライン、あんないジョーズご利用時の情報料 は、検索回数を設定 (下1桁は小数点第1位) 例：10回の場合→“100”
13	通 話 料 金 3 ※INS-VPNの場 合、その他通話・通信料 をセット	数字	10	INS-VPNでかつ着信側(携帯)のMAが発信側と 異なる場合(市外通話のイメージ)、遠距離通話として 項目「通話料金1」に料金が設定。 INS-VPNでかつ着信側(携帯)のMAが発信側と 同じ場合(市内通話のイメージ)、近距離通話として項 目「通話料金2」に料金が設定。

（３）通話明細レコードの続き

項番	項目名	区分	桁数	内 容
14	発信県名	文字	10	スペースを設定
15	通話種別	文字	20	通話種別を設定 例：“オンネット(メンバーズ)”、“オンネット INS 通話” 詳細は、「ダイヤル通話料金明細内訳書各種コード表」の 4. 通話種別コード表参照
16	昼夜別	文字	18	通話時間帯を設定 例：“昼間”
17	フリーダイヤルサービス種	文字	18	スペースを設定
18	地域名	文字	12	発信MA名を設定 ※サービス区分＝“INS-VPN”（INSメンバーズ）の場合、着信側のMA名が設定 ※着信が携帯の場合、携帯が着信したMA名が設定
19	各種サービス番号	文字	11	スペースを設定
20	利用内訳	文字	30	ご利用の会社名を設定 例：“NTTコミュニケーションズ” “携帯電話会社” “PHS会社” “ポケットベル会社”
21	年月群	文字	7	年は西暦4桁、月は“01”～“12” 群は“1”～“6”（A群～F群） 例：2000年8月C群→“2000083”

(4) 電番合計レコード

項 番	項 目 名	区分	桁数	内 容
1	レ コ ー ド 識 別	文字	1	"5"固定
2	明 細 送 付 代 表 番 号	文字	12	明細一括送付IDを設定 例："123456789012" (カッコ、ハイフン編集なし)
3	子 電 話 番 号	文字	13	発信電話番号を設定 (クレジットサービスの場合は、課金先電話番号) 例："(03)1234-5678" (カッコ付きハイフン編集)
4	サ ー ビ ス 区 分	文字	20	サービス区分を設定 例：アナログメンバーズ→"VPN" INSメンバーズ→"INS-VPN" クレジット→"クレジット"
5	利 用 区 分	文字	60	集計単位となる利用区分を設定 例："オンネット通話料／通信料" "オフネット通話料／通信料" "メンバーズネット通話料／通信料" "オンネット通話料／通信料 (合計)" "オフネット通話料／通信料 (合計)" "メンバーズネット通話料／通信料 (合計)"
6	合 計 金 額	数字	9	サービス区分／利用内訳、利用区分単位の総通話料金を設定
7	そ の 他 計	数字	9	ゼロを設定
8	加 減 算 計	数字	9	ゼロを設定
9	未 送 付 計	数字	9	ゼロを設定
10	請求分計 (割引適用分)	数字	9	ゼロを設定
11	請求分計 (通常通話分)	文字	9	オールゼロを設定
12	I 識 別	文字	30	例：アナログ通話→"アナログ" ISDN通話→"INSメンバーズ (通話モード)" ISDN通信 (64Kb) →"INSメンバーズ (デジタル 64Kb)" ISDN通信 (384Kb) →"INSメンバーズ (デジタル 384Kb)" ISDN通信 (1536Kb) →"INSメンバーズ (デジタル 1536Kb)"
13	利 用 内 訳	文字	30	ご利用の会社名を設定 例："NTTコミュニケーションズ" "携帯電話会社" "PHS会社" "ポケットベル会社"
14	年 月 群	文字	7	年は西暦4桁、月は"01"～"12" 群は"1"～"6" (A群～F群) 例：2000年8月C群→"2000083"

（５）電番合計レコード（クレジット通話分）

※クレジット通話明細の送付をお申し込みの場合に作成します。

項番	項目名	区分	桁数	内 容
1	レコード識別	文字	1	"5"固定
2	明細送付代表番号	文字	12	明細一括送付IDを設定 例："123456789012" (カッコ、ハイフン編集なし)
3	子電話番号	文字	13	課金先電話番号を設定 例："(03)1234-5678" (カッコ付きハイフン編集)
4	サービス区分	文字	20	"クレジット"を設定
5	利用区分	文字	60	利用区分を設定 例："クレジット通話料(自動)"
6	合計金額	数字	9	ご利用期間内の通話料金合計を設定
7	月間加減算金額	数字	9	ゼロを設定
8	区域内合計金額	数字	9	ゼロを設定
9	非希望時合計金額	数字	9	ゼロを設定
10	請求額金額	数字	9	請求額金額(項番6)と同項目を設定
11	通話時間	文字	10	通話毎の通話時間を設定(HHHHMMSS) 例：8.0秒の場合→"0000000080" 1分12.5秒の場合→"0000001125" 1時間25分6.0秒の場合→"0000125060" (秒については、0.5秒単位で表示します)
12	利用内訳	文字	30	ご利用の会社名を設定 例："NTTコミュニケーションズ" "携帯電話会社" "PHS会社" "ポケットベル会社"
13	年月群	文字	7	年は西暦4桁、月は"01"~"12" 群は"1"~"6" (A群~F群) 例：2000年8月C群→"2000083"

平成23年3月にサービス終了

（６）終了レコード

項番	項目名	区分	桁数	内 容
1	レコード識別	文字	1	"9"固定
2	FD枚数	文字	2	FD/MO等の枚数 "01"~"99"
3	総出力レコード数	数字	9	総レコード数を設定 (共通管理レコード、終了レコードを含む)
4	年月群	文字	7	年は西暦4桁、月は"01"~"12" 群は"1"~"6" (A群~F群) 例：2000年8月C群→"2000083"

6. コード表「料金群・詳細群」

料金群は、弊社（NTTCom）が、お客様のお支払い期限に合わせて「1(A)」～「6(F)」で設定、
詳細群は「A」、「F」、「L」、「Q」、「V」、「5」で設定します。

群		詳細群	毎月のお支払期限 (標 準)	ご利用料金の計算期間
数字	英字			
1	A	A	20日	前々月の21日～前月の20日
2	B	F	25日	前々月の26日～前月の25日
3	C	L	31日	前月の1日～前月の末日
4	D	Q	5日	前月の6日～当月の5日
5	E	V	10日	前月の11日～当月の10日
6	F	5	15日	前月の16日～当月の15日

【注】お支払期限が、土曜日、日曜日、祝日の場合、翌営業日がお支払い期限となります。